

5/7 木村

To Office of Experimental

Date

Planning and Coordination

MACHINE TIME EXECUTION

REPORT (2002 - / CYCLE)

Experimental Group	E 509	Reporter	谷田 聖
Scheduled Period and Shift	2002年 4月 10日 ~ 26日 4/シフト	Main, Sub, Para	Sub
Experimenters 谷田, 田村, 三浦, 福巻, 水沼, 高橋(後), 三輪, 今井, 高橋(前), 花知, 折山			

SUMMARY OF EXECUTION AND RESULTS

^7Li , ^9Be , ^{10}B , ^{11}B , ^{12}C の各ターゲットについてデータを取得した。
各ターゲットに対する stopped K^- の数は, proposal 360MK $^-$ に対し
 ^9Be と ^{12}C で 100MK $^-$, 他のターゲットで 300MK $^-$ 程度であった。
1 spill 当たりの stopped K^- の数, ゲルマニウム検出器の動作状況などは
ほぼ予定通りであったが, ただ一つ, trigger rate だけは, 予定より倍ぐら
い高くなった。これに伴って取得データ量が増加し, 解析に使っている
マシンをバックアップ専用にセザるを得なくなったため, 解析は
on/line では終了しなかった。現在取得したデータを東北大に持ち
帰って解析を行っている。

EXECUTED MACHINE TIME, BEAM CONDITION, DOWN TIME etc.

ビームの状態は非常に良く, ダウンタイムも少なかった。(4/シフト)
結果として予定されていたビームタイムのほぼ全てを消化することができた。

COMMENTS

E 509 のもとの申請時間は 70 シフトであったため, 解析が終了次第
延長申請を提出する予定である。